

東日本大震災報告書

— 東日本大震災への対応と提言 —

2011

3.11

M9.0

東日本大震災報告書

— 東日本大震災への対応と提言 —

社団法人宮城県歯科医師会

発刊の挨拶

社団法人宮城県歯科医師会 会長 細谷 仁憲



忘れもしない平成23年3月11日午後2時46分。当県を中心に東日本の太平洋沿岸部に、未曾有の大惨事・東日本大震災が発生しました。巨大な地震と津波により、多くの人が尊い命・家族・家・仕事・暮らしを奪われました。また福島原発事故により、多くの人が故郷を追われました。

当会では、会員6名が死亡、歯科医療機関1050カ所中約3割が損壊、約2割が半壊以上、約1割が大規模半壊・全壊、未だ約30カ所が未再開という状況です。当会会館も損壊し、補修に9月までかかりました。

このような状況の中、当会は平成20年から常設とした大規模災害対策本部を東日本大震災対策本部として、総務・情報、歯科医療救護、会員救援、身元不明ご遺体の身元確認の4つの班活動を行って参りました。歯科医療救護と身元確認の活動については、次第に、避難所と避難民、及び身元不明のご遺体が膨大な数に上ることが、また被災して通信・移動手段の確保をできない会員が多数に上ることが分かってきて、当会だけではとても対応しきれないことから、先ず東北大学大学院歯学研究科のご支援と連携を、続いて日歯のご支援を通じて全国の歯科医師会・大学・学会・歯科衛生士会・歯科技工士会等からのご支援を両活動共に7月末まで頂いて参りました。

また人的派遣だけでなく、救援物資調達、お見舞い金、善意といったご支援も、日歯、全国の歯科医師会、日歯連盟、日学歯、学会、企業、個人等から頂いて参りました。

これらの活動とご支援を通じて、私共は改

めて“人はやはり一人だけでは生きていくことができない”ということや、また“人の優しさ”、“人との絆”等の大切さを学びました。

今、大震災から1年が経とうとしています。甚大な被害を受けた沿岸部も、少しずつ落ちつきを取り戻しつつあるようにみえますが、復興は、瓦礫の処理・地盤沈下対策・鉄道の復旧等が大変遅れており、長い道のりとなるでしょう。当会としても、今後、被災地の復興と医療提供体制の復興は相互不可分の関係にあることから、被災歯科医療機関が復興に至るまで支援していくことや、今大震災により、これまで我が国で想定されてきた他の大地震も、規模がより大きく、発生確率がより高い状況にある可能性が高まったことから、今大震災で得た数多くの教訓を生かして、より一層の災害対策体制の整備・強化を図っていくこと等の活動が必要と考えています。

従って今後も当会の今大震災関係活動は続く訳ですが、1年という大きな節目を迎えるにあたって、記憶が風化する前に、この間当会がどう活動したのか、何が出来て、何が出来なかったのか、得た教訓・課題は何であったのかを記録に残すために、本書を発刊することにしました。

本書が、当会はもとより、歯科医師会はじめ関係の方々にとって、今後の災害対策体制の整備・強化の一助になれば幸いです。

最後に、発刊に当たってご苦勞・ご協力頂いた関係者の方々に衷心から感謝申し上げ発刊のご挨拶といたします。

刊行に寄せて

社団法人日本歯科医師会 会長 大久保満男



このたび、宮城県歯科医師会が、東日本大震災への対応と活動に関する報告書を刊行されるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず、あの大地震で犠牲になられた会員をはじめ多くの方々に衷心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に、会員診療所の再建とあわせて、被災にあわれた方々の復興を心よりお祈り申し上げます。

私は、今でも、あの大地震に対する心の整理をつけられない状態にあります。私でさえ、そうであるとするなら、甚大な被害を受けられた宮城県歯科医師会と会員の先生方が、本報告書の刊行に踏み切るまでには、大変なご苦勞があったであろうと推察申し上げ、細谷会長を始め会員先生方のご決断に心より敬意を表します。

宮城県歯科医師会を始めとして、われわれ歯科医師会と会員は、自らの立場で、出来ること、なさねばならないことを、実行してまいりました。そして今求められていることは、未曾有といわれたあの災害に、どのように立ち向かい、どのように活動し、それをどのように支援したのか、その記録を歴史にとどめることだと思います。この意味は、言うまでもなく、われわれの活動が、あの大災害の凄まじい状況の中で、何ができ、何ができなかったのか、その評価を後世に歴史として残すことです。それだけが、あってはならないことですが、しかし確実に来るであろう、次の大地震に備える最も大事な方法であるからだと思います。

私が改めて申し上げるまでもなく、今回の宮城県の被害は想像を絶するものでした。

地震発生の翌日に、政府関係者より、私に電話が入り、「極めて残念だが、大変な犠牲者が出るだろう。死者の身元確認への日歯の協力を」という依頼でした。私は即座に了承し、全国の歯科医師会へ協力会員を募ったところ、一週間足らずで1000名を越す名簿が寄せられました。私は、会員のこの志に感動しましたが、もっと深く感動したのは、現地の会員そして東北大学の先生方が、自ら被災者でありながら、過酷な身元確認作業に真っ先に出向いたことでした。初動時には、現地と外部から入られた先生方も含めて、混乱も当然ありましたが、しかし、何とかわれわれの責務を果たせたのは、ひとえに御尽力いただいた多くの先生方の献身的な努力によるものであり、深く感謝申し上げます。

しかし多くの課題が残されました。それは、被災者への健康支援や歯科医療の提供が、あまりに広範囲で、かつ多数の被災者の状況下で、システムとして機能することが出来なかったことです。しかし、われわれは、これらの残された課題を常に平時において議論し続けねばならないと思います。そしてそれだけが、多くの犠牲者と被災者に向き合うわれわれの責務であると思います。

本報告書が、そのような意味で、多くの人々に読まれ、次の災害への大きな支えとなることをお祈りし、ご挨拶といたします。

東日本大震災報告書

— 東日本大震災への対応と提言 —

発刊の挨拶

(社)宮城県歯科医師会 会長 細谷 仁憲

刊行に寄せて

(社)日本歯科医師会 会長 大久保満男

被害状況7

- 各地の震度 ●宮城県内の被害状況 ●避難者数
- 仮設住宅建設戸数 ●宮城県の避難者推移
- ライフライン復旧状況 ●会員診療所の被災状況
- 会員診療所の再開状況
- 「東日本大震災時における宮城県内病院歯科の状況調査」集計結果

震災前と震災後の被災地の様子

- 南三陸町志津川 ●石巻市旧北上川河口
- 仙台港・蒲生 ●仙台空港 ●巨理町鳥の海

会員からの提供写真

宮城県歯科医師会の大規模災害に対する取り組み27

東日本大震災発生以前

宮城県歯科医師会東日本大震災対策本部の活動33

総務情報班

総務情報班 副長 佐藤 修久
副長 及川 徳洋

医療救護班

医療救護班 班長 大内 康弘
歯科医療救護支援物資の対応
副長 木村 純子

会員救援班

会員救援班 班長 山形 光孝

身元確認班

身元確認班 班長 江澤 庸博

仮設歯科診療所

仮設歯科診療所運営委員会
委員長 佐藤 勝

宮城県内11支部会の活動117

(社)仙台歯科医師会

仙台歯科医師会 会長 長田 純一

(社)塩釜歯科医師会

塩釜歯科医師会 会長 佐々木元樹

岩沼歯科医師会

岩沼歯科医師会 会長 遠藤 裕三

柴田郡歯科医師会

柴田郡歯科医師会 会長 玉野井 修

白石歯科医師会

白石歯科医師会 会長 小野貴志夫

角田歯科医師会

角田歯科医師会 専務理事 濱上 辰夫

(社)石巻歯科医師会

石巻歯科医師会 副会長 鈴木 徹

石巻歯科医師会 広報委員 木村 裕

東日本大震災における石巻口腔健康センターの被害状況

石巻口腔健康センター運営委員会 委員長 植木 裕行

「歯科医師として」

石巻市 三宅歯科医院 三宅 宏之

私の前に道はある

— 3.11東日本大震災を乗り越えて

東松島市鳴瀬歯科診療所 五十嵐公英

東日本大震災の経験

女川町 木村歯科 木村 裕

(社)大崎歯科医師会

大崎歯科医師会 会長 戸田 慎治

大崎歯科医師会 広報担当理事 千葉 昌一

登米市歯科医師会

登米市歯科医師会 会長 安藤 良彦

栗原市歯科医師会

栗原市歯科医師会 広報担当 菅原 智弘

気仙沼歯科医師会

気仙沼歯科医師会 会長 菅野 健

東日本大震災南三陸町

気仙沼歯科医師会 副会長

南三陸町 小野寺 勉

東日本大震災を通じて感じた事

気仙沼支部会 前会長 金澤 洋

日本歯科医師会派遣チームへの感謝

宮歯派遣チームコーディネーター 猪苗代盛昭

東北大学大学院 歯学研究科の活動179

東北大学大学院歯学研究科
研究科長・教授 佐々木啓一

宮城県歯科医師会 各団体の活動185

宮城高等歯科衛生士学院

宮城高等歯科衛生士学院 教務部長 佐藤 公威
教務主任 佐藤 陽子

宮城県歯科医師協同組合

宮城県歯科医師協同組合 専務理事 枝松 淳二
事務局長 山根 啓資

宮城県歯科医師国民健康保険組合

宮城県歯科医師国民健康保険組合 常務理事 角田 章司

宮城県歯科医師連盟

宮城県歯科医師連盟 理事長 目黒 一美

歯科関係団体の活動199

(社)宮城県歯科技工士会

宮城県歯科技工士会 会長 佐藤 誠

宮城県歯科衛生士会

宮城県歯科衛生士会 会長 奥谷 房子

宮城県歯科商工会

- ・復旧の現場から
(株)ヨシダ 常務取締役 業務本部長・
対策本部副部長 城戸 祐二
- ・2ヶ月、全国から支援
(株)モリタ 取締役・東日本大震災
対策復興本部 高須 進
- ・宮城県歯科商工会 専務理事
(株)ジーシー 東北営業所 所長 片岡 康弘

座談会211

「東日本大震災への歯科医師会の対応」
～被災地歯科医師会(宮歯)と日本歯科医師会
それぞれの立場から～

大久保満男 日本歯科医師会 会長
柳川 忠廣 日本歯科医師会 常務理事
細谷 仁憲 宮城県歯科医師会 会長
・東日本大震災対策本部 本部長
枝松 淳二 宮城県歯科医師会 専務理事
・副本部長兼総務情報班 班長
大内 康弘 宮城県歯科医師会 常務理事
・医療救護班 班長
山形 光孝 宮城県歯科医師会 常務理事
・会員救援班 班長
江澤 庸博 宮城県歯科医師会
・身元確認班 班長
佐藤 勝 宮城県歯科医師会 常務理事
・仮設歯科診療所運営委員会 委員長
佐藤 修久 宮城県歯科医師会 常務理事
・総務情報班 副長
佐藤 敏明 宮城県歯科医師会 常務理事
・会員救援班 副長
及川 徳洋 宮城県歯科医師会 常務理事
・総務情報班 副長
山田 真 宮城県歯科医師会医療救護班 副長

社会歯科学研究会 (秋季大会・宮城)227

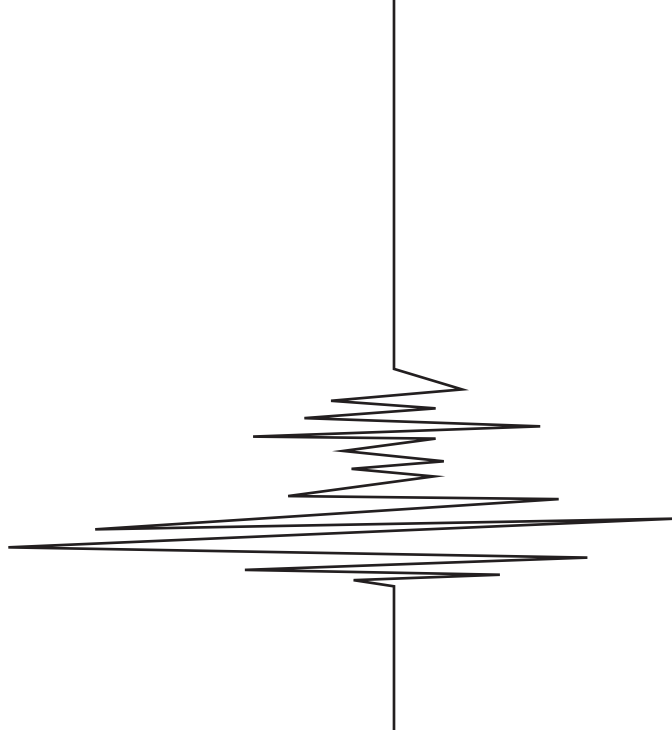
平成23年11月26日(土)・27日(日)
会 場：宮城県歯科医師会館
テーマ：「大規模災害と歯科医師会」

会員アンケート結果233

東日本大震災に関するアンケート
平成23年7月実施

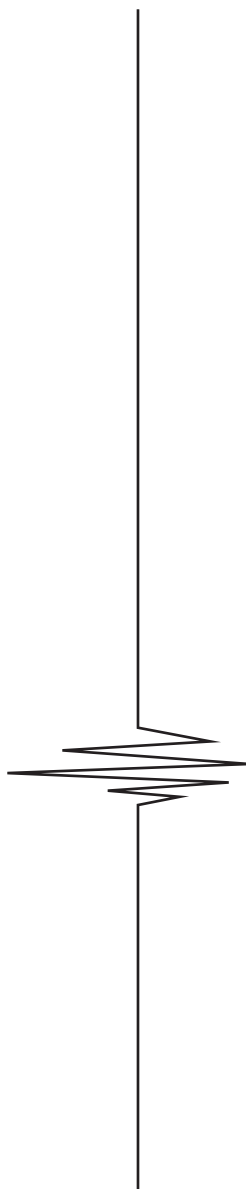
編集後記246

東日本大震災報告書編集会議
委員長 枝松 淳二



東日本大震災

被害状況





東日本大震災

発震時 2011年3月11日14時46分

震央 三陸沖

北緯38度6分12秒、東経142度51分36秒

震源の深さ24km

マグニチュード9.0、最大震度7（宮城県栗原市）

地震の種類 海溝型地震、逆断層型

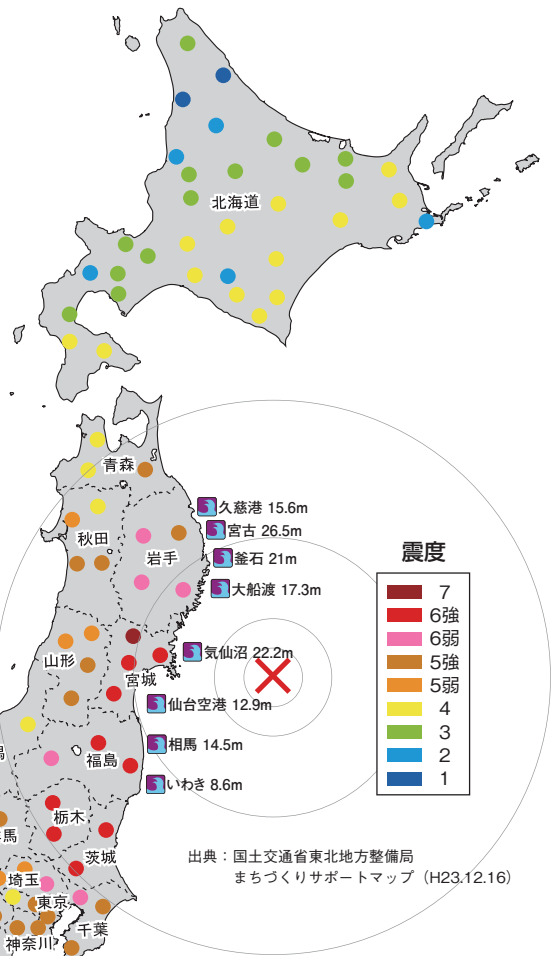
余震回数 震度4以上: 212回

M5以上: 576回（2011年12月8日時点）

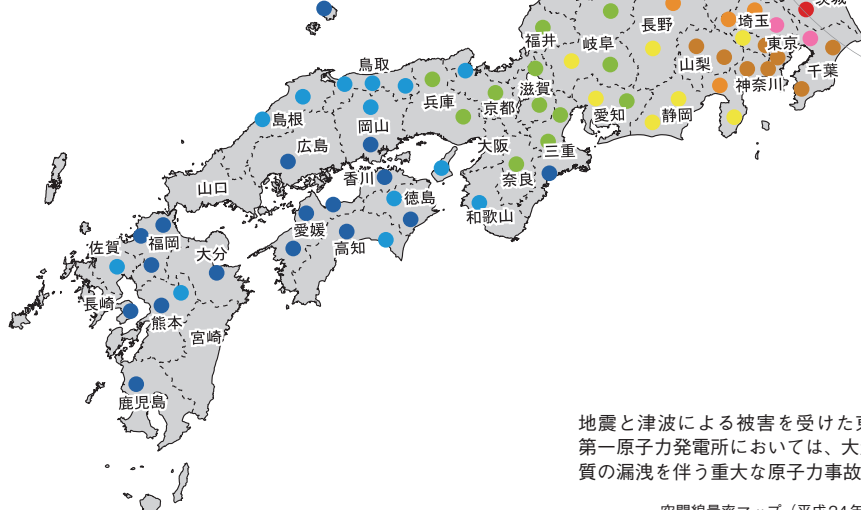
●各地の震度（震度6弱以上のみ記載）

- 7 宮城県 栗原市
- 6強 宮城県 涌谷町、登米市、美里町、大崎市、名取市、蔵王町、川崎町、山元町、仙台市宮城野区、石巻市、塩竈市、東松島市、大衡村
- 福島県 白河市、須賀川市、国見町、鏡石町、天栄村、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町
- 茨城県 鉾田市、日立市、高萩市、小美玉市、那珂市、笠間市、筑西市、常陸大宮市
- 栃木県 大田原市、宇都宮市、真岡市、市貝町、高根沢町
- 6弱 岩手県 大船渡市、釜石市、滝沢村、矢巾町、花巻市、一関市、藤沢町、奥州市
- 宮城県 気仙沼市、南三陸町、白石市、角田市、岩沼市、大河原町、亶理町、仙台市青葉区、仙台市若林区、仙台市泉区、松島町、利府町、大和町、大郷町、富谷町
- 福島県 福島市、郡山市、二本松市、桑折町、川俣町、西郷村、中島村、矢吹町、棚倉町、玉川村、浅川町、小野町、田村市、伊達市、本宮市、いわき市、相馬市、広野町、川内村、飯舘村、南相馬市、猪苗代町
- 茨城県 水戸市、北茨城市、ひたちなか市、茨城町、東海村、常陸太田市、土浦市、石岡市、取手市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、美浦村、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、行方市、桜川市、常総市、つくばみらい市、城里町
- 栃木県 那須町、那須塩原市、芳賀町、那須烏山市、那珂川町
- 群馬県 桐生市
- 埼玉県 宮代町
- 千葉県 成田市、印西市

出典：気象庁



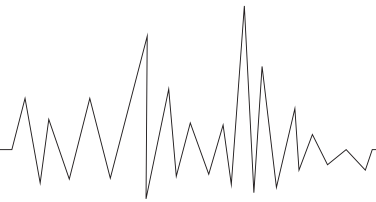
出典：国土交通省東北地方整備局 まちづくりサポートマップ（H23.12.16）



地震と津波による被害を受けた東京電力福島第一原子力発電所においては、大量の放射性物質の漏洩を伴う重大な原子力事故に発展した

空間線量率マップ（平成24年1月11日時点）
出典：文部科学省 HP





市町村	人的被害					住家被害						
	死者	行方不明者	重傷	軽傷	その他	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	非住家被害	火災発生件数
	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	件
仙台市	704	33	275	1,994	0	28,790	95,818	110,670	調査中	調査中	調査中	39
石巻市	3,182	557	調査中	調査中	調査中	22,357	11,021	20,364	6,821	10,908	7,301	23
塩竈市	31	1	2	8	0	757	3,713	6,082	2,606	256	1,115	7
気仙沼市	1,030	338	調査中	調査中	調査中	8,488	2,551	4,479	調査中	調査中	10,216	8
白石市	1	0	0	18	0	39	545	2,119	0	0	調査中	1
名取市	911	55	14	191	0	2,801	1,129	10,061	3,403	1,179	2,745	12
角田市	0	0	0	4	0	13	158	988	0	0	15	0
多賀城市	188	1	調査中	調査中	調査中	1,730	3,605	5,804	調査中	調査中	調査中	15
岩沼市	182	1	7	286	0	688	1,477	2,734	1,540	114	3,126	1
登米市	0	4	11	40	0	197	1,562	3,267	0	3	756	5
栗原市	0	0	6	544	0	57	361	4,559	0	3	48	0
東松島市	1,047	66	62	59	0	5,470	5,542	3,522	調査中	調査中	328	3
大崎市	5	0	76	147	0	584	2,376	8,937	0	0	328	3
蔵王町	0	0	0	0	0	16	142	1,095	0	0	681	0
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0
大河原町	0	0	0	0	1	10	141	1,286	0	0	110	0
村田町	0	0	0	1	0	9	114	636	0	0	255	1
柴田町	2	0	3	1	0	13	188	1,623	0	0	調査中	0
川崎町	0	0	0	0	3	0	14	425	0	0	3	0
丸森町	0	0	0	0	0	1	34	512	0	0	22	1
亘理町	257	12	2	0	43	2,298	1,055	2,251	797	275	468	3
山元町	671	19	9	81	調査中	2,216	1,080	1,137	調査中	調査中	335	0
松島町	2	0	3	34	0	219	1,570	1,504	191	90	97	2
七ヶ浜町	70	5	調査中	調査中	調査中	672	631	2,528	調査中	調査中	824	0
利府町	46	0	4	0	0	55	896	3,479	45	14	調査中	0
大和町	0	0	0	7	0	41	256	2,618	0	0	調査中	0
大郷町	1	0	1	4	1	50	274	749	0	0	203	0
富谷町	0	1	2	29	0	16	544	5,185	0	0	調査中	1
大衡村	0	1	0	4	0	0	16	764	0	0	0	0
色麻町	0	0	0	9	0	0	14	209	0	0	16	0
加美町	0	0	0	33	0	8	35	749	0	0	109	0
涌谷町	1	2	3	20	24	143	727	967	0	0	783	0
美里町	0	1	19	48	0	129	619	3,126	0	0	1,702	2
女川町	575	347	調査中	調査中	調査中	2,923	338	671	調査中	調査中	1,613	5
南三陸町	565	310	調査中	調査中	調査中	3,142	169	1,214	調査中	調査中	234	5
計	9,471	1,754	499	3,562	72	83,932	138,715	216,323	15,403	12,842	34,094	135

※上記には、4月7日・7月25日・7月31日・8月19日・10月10日の余震の被害を含んでいます。

※ライフラインは、平成23年12月11日をもちましてすべて復旧いたしました。(津波で流出した地域を除く)

※避難所は、平成23年12月30日をもちまして県内避難所はすべて閉鎖されました。

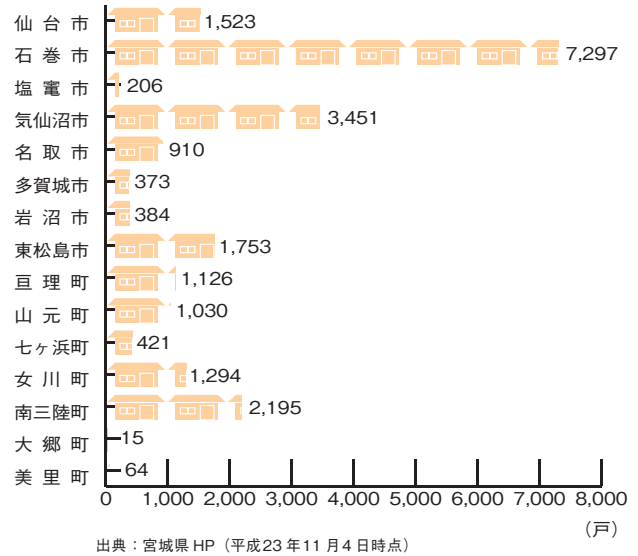
出典:宮城県 HP「地震被害等状況及び避難状況」(2012.2.20 17:00)



●避難者数（ピーク時）

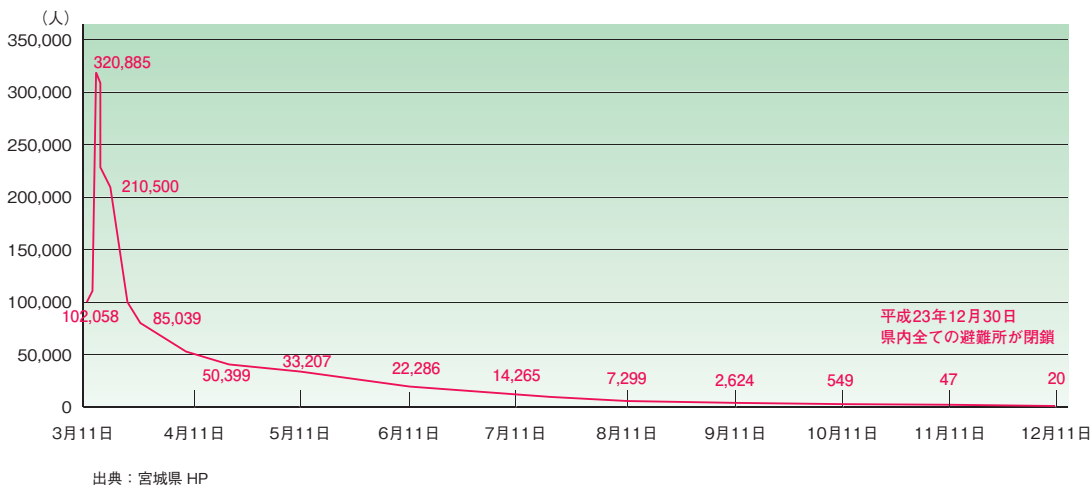


●仮設住宅建設戸数



地震当日、停電で暗闇となった仙台市の中心部は、帰宅しようとする車の列で大渋滞となった。

●宮城県の避難者数推移





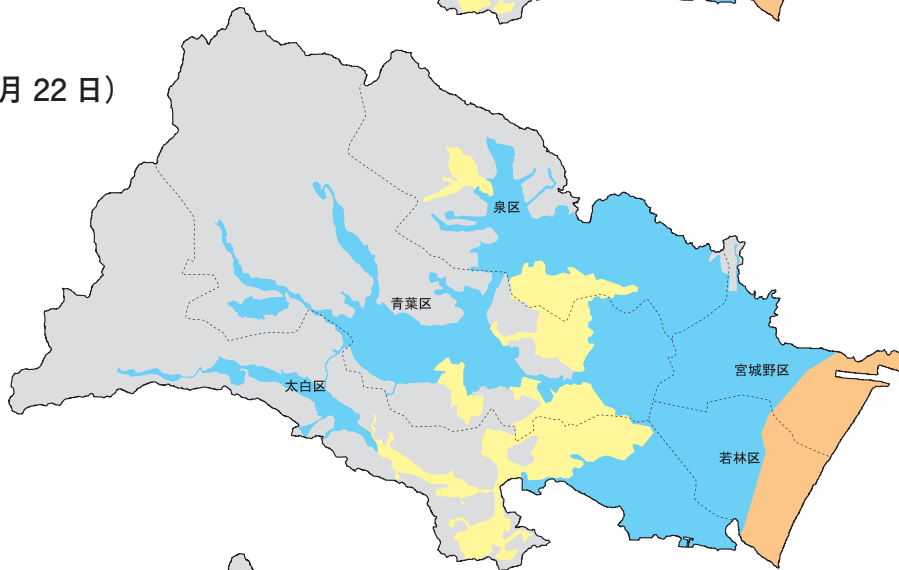
ライフライン復旧状況 (仙台市内)

●水道

(3月13日)



(3月22日)



(3月29日)

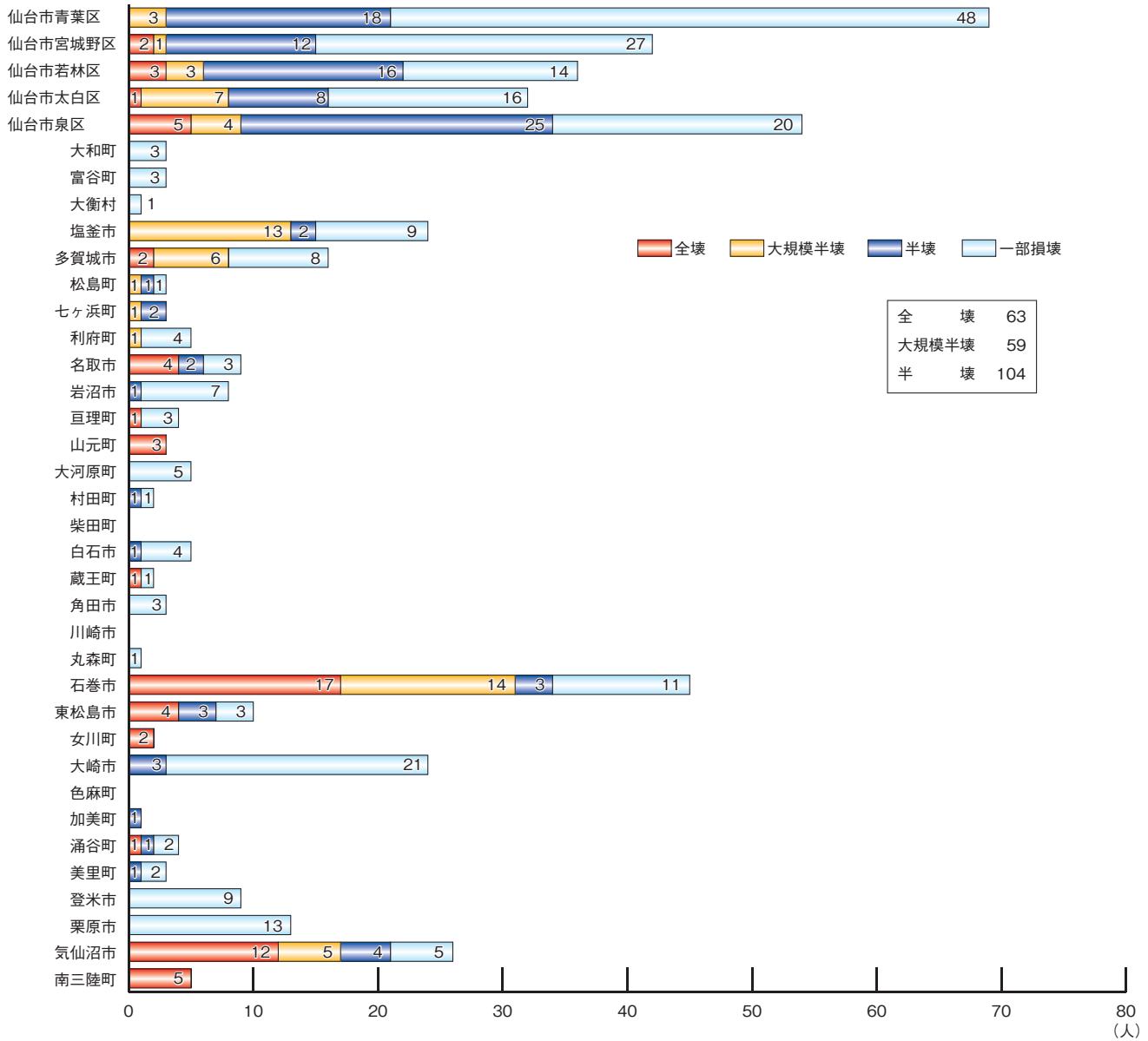


出典：仙台市水道局 変更



● 会員診療所の被災状況

(平成24年2月1日時点共済申請に基づく)



全壊 63
大規模半壊 59
半壊 104

● 会員診療所の再開状況

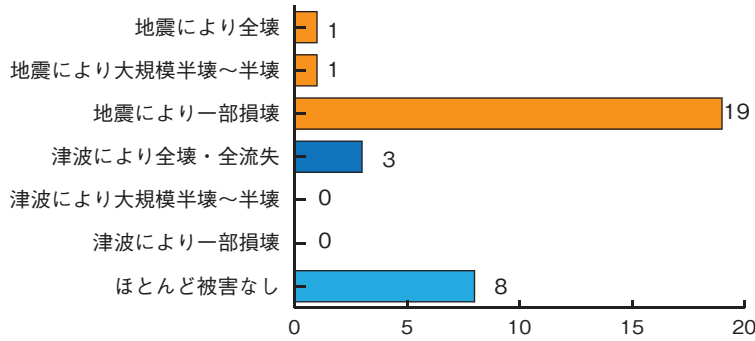
(平成23年7月実施「会員アンケート」結果より〔回答数716、回収率63.0%〕)

(支部会)	仙台	塩釜	岩沼	柴田	白石	角田	石巻	大崎	登米	栗原	気仙沼
3月11~17日の間	123		2	6	6		1	11	2	2	
3月18~24日の間	153	16	21	12	4	4	6	25	12	14	1
3月25~31日の間	39	13	10	4	1	2	7	11	2	1	1
4月	24	26	3	1	1		16	2	1	1	12
5月	4	4	2				5				3
6月	3						8	1			1
7月		2					5				
8月以降を予定	1		1				1				

「東日本大震災時における宮城県内病院歯科の状況調査」集計結果

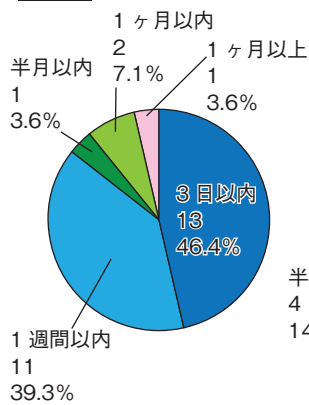
平成24年2月調査
 調査対象33病院
 調査客体32病院（県立がんセンターは震災時「歯科」設置なし）

Q1. 診療所建物の被害状況

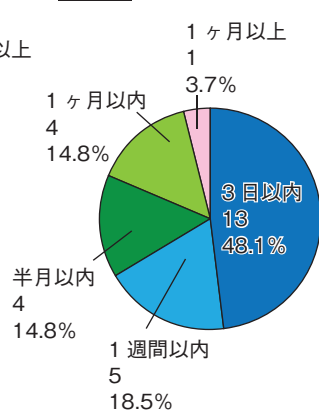


Q2. 病院のライフライン等の復旧状況

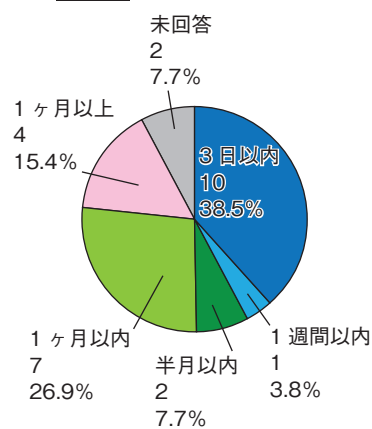
電気



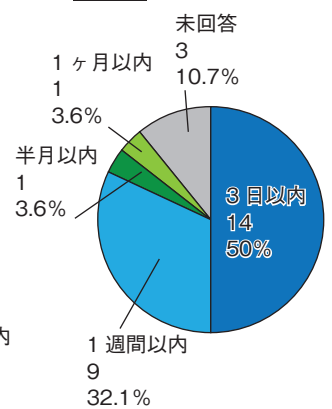
水道



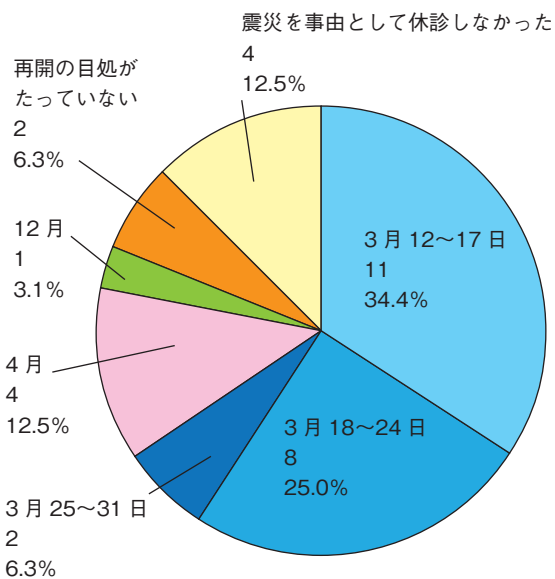
ガス



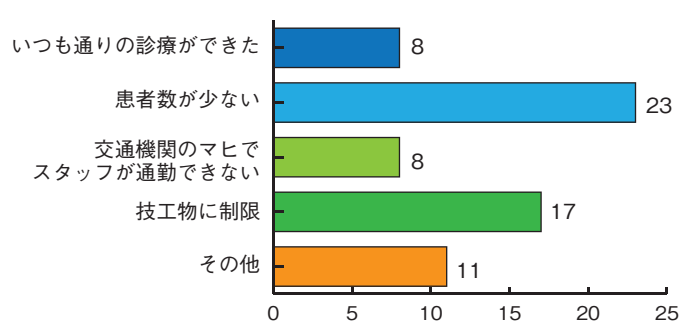
電話



Q3. 診療を再開できたのはいつですか？



Q4. 診療再開後の状況（複数回答）

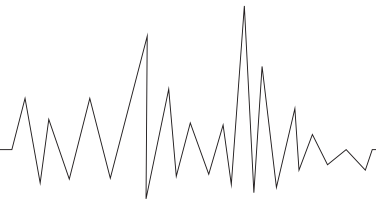




震災前と震災後の被災地の様子 南三陸町志津川



写真提供：社団法人東北建設協会



震災前と震災後の被災地の様子 石巻市旧北上川河口



写真提供：社団法人東北建設協会



震災前と震災後の被災地の様子 仙台港・蒲生



写真提供：社団法人東北建設協会



震災前と震災後の被災地の様子 仙台空港



写真提供：社団法人東北建設協会



震災前と震災後の被災地の様子 **亘理町鳥の海**

震災前



震災後

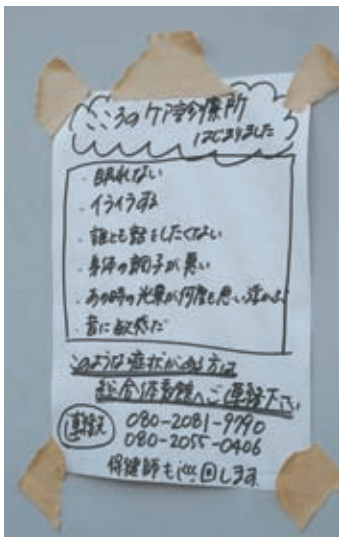


写真提供：社団法人東北建設協会



会員からの提供写真

撮影者：仙台支部 高橋 征先生
撮影場所：宮城県内各地より









会員からの提供写真

撮影者：仙台支部 須藤圭一先生 スタッフ加藤氏

場所場所：多賀城市明月（県道 23 号仙台市塩釜線「産業道路」沿い）





会員からの提供写真

撮影者：石巻支部 佐藤隆保先生

「避難所での義歯修理」

一週間程水没していた医院に、やっと大工さんが来てくれて、なかなかはかどらなかつた診療所の修繕も、6月には一部分を残してどうにか診療再開が出来ました。

間もなくして70歳近くの老人が来られ、避難所で義歯が割れたので新しいものを作って欲しいとのこと。

「食べられなくて不自由だったでしょうね！」

『いや。食うには困らない。ただ、見た目が悪くて……』と出されたのがこの入れ歯。

なるほど審美的には良くないが、口蓋のヒビもお構いなしに見事な補強と吸着！



義歯の安定には咬合の回復がいかに重要かが解る。

「それにしてもよく器用に直せましたね」

『大工でね』

“匠の技”に完敗。

うちの補修もこの方に直して貰いたかった～！





会員からの提供写真

撮影者：仙台支部 入野田昌史先生
撮影日：平成 23 年 6 月 23 日

「石巻赤十字病院・口腔ケアボランティア」

